

第6回 技術士制度・試験講習会

(3) - 1

試験受験申込書、業務経歴票 [証明書]、
口頭試験の心構え・体験談

2016年（平成28年）2月6日
於 原子力安全推進協会

技術士（原子力・放射線部門、建設部門） 関口 高志

1.自己紹介

○業務経歴

1988年3月 : 工学部土木工学科を卒業

1988年4月 : 建設会社に入社

～2002年度 : 土木分野の業務（現場・設計・技術検討）

2003年度～ : 原子力分野の業務（放射性廃棄物処分）

○技術士取得

1997年度 建設部門 土質及び基礎

2000年度 // 鋼構造及びコンクリート

2002年度 // 道路

2003年度 // 一次試験合格（試験制度改定のため）

2014年度 原子力・放射線部門 核燃料サイクルの技術

2. 受験申込み（第一次試験①）

○受験申込書の入手

- 日本技術士会ホームページからダウンロード（推奨：PDF入力可）
- 日本技術士会技術士試験センター（渋谷区）で入手or郵送で請求

○受験申込書受付期間（平成28年度）

- 申込書の配布 平成28年6月8日(水)～7月1日(金)
- 申込書の受付 平成28年6月20日(月)～7月1日(金)
- 原則郵送、書留（簡易書留）
- 受験手数料（11,000円）は金融機関への振込、ネットバンキング可
- 申込用紙の記載事項や添付書類に不備がある場合、受付期間内に補正完了する必要あり（余裕を持って準備のこと）

○受験資格

- 年齢・学歴・国籍・業務経歴等による制限なし

2. 受験申込み（第一次試験②）

【記入要領：次頁参照】

技術士第一次試験受験申込書

提出日を記入

○受験申込書 (サンプル)

○提出書類

- 受験申込書
- 写真
- 受験手数料の
払込受付証明書②
- 試験の一部免除
に係る書類

(平成14年度以前に一次試験を受けずに二次試験に合格していた場合)

文部科学大臣指定試験機関 公益社団法人 日本技術士会会長 殿
下記により、技術士第一次試験を受験したいので、申し込みます。

平成 27年 6月 22日

(フリガナ) スカ シズオ	氏名	駿河 鎮雄 (男 <input checked="" type="checkbox"/> ・女 <input type="checkbox"/>)	受験地	B 東京都
生年月日	昭和 60年 7月 15日生		技術部門	07 金属部門 20 原子力・放射線部門
本籍地	静岡県	都道府県コード <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="2"/>	試験の一部免除を受ける場合は、次のいずれかの該当する口に○を付すこと。 <input type="checkbox"/> 基礎科目及び専門科目を免除 <input type="checkbox"/> 基礎科目を免除	記入しない
現住所	〒106-0047 東京都港区南麻布6丁目8番10号 マンション名等 カーザ南麻布5-20号 電話番号 03-3459-1333			
都道府県コード <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="3"/>	勤務先又は 在学中の学校	勤務先名又は学校名 虎ノ門ケミカル株式会社 支店・部課名又は学部学科名 開発部 金属材料研究課 電話番号 03-3459-1331	最終学歴	学校名 焼津工業大学 学部学科名 工学部化学工学科
勤務先コード <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="1"/>	最終学歴コード <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="1"/>	卒業(修了)年月	平成 20年 3月	

試験の一部免除を受ける場合には、下記の該当する口のいずれかに✓を付し、必要事項を記入すること。

技術士第一次試験合格証番号又は技術士登録番号	合格年月又は登録年月日	技術部門
<input type="checkbox"/> 合格証番号	年 月 日	記入しない
<input type="checkbox"/> 登録番号	年 月 日	

“試験の一部免除”を受ける場合：16頁、17頁へ

3. 受験申込み（第二次試験①）

○受験申込書の入手（第一次試験と同じ）

- 日本技術士会ホームページからダウンロード（推奨：PDF入力可）
- 日本技術士会技術士試験センター（渋谷区）で入手or郵送で請求

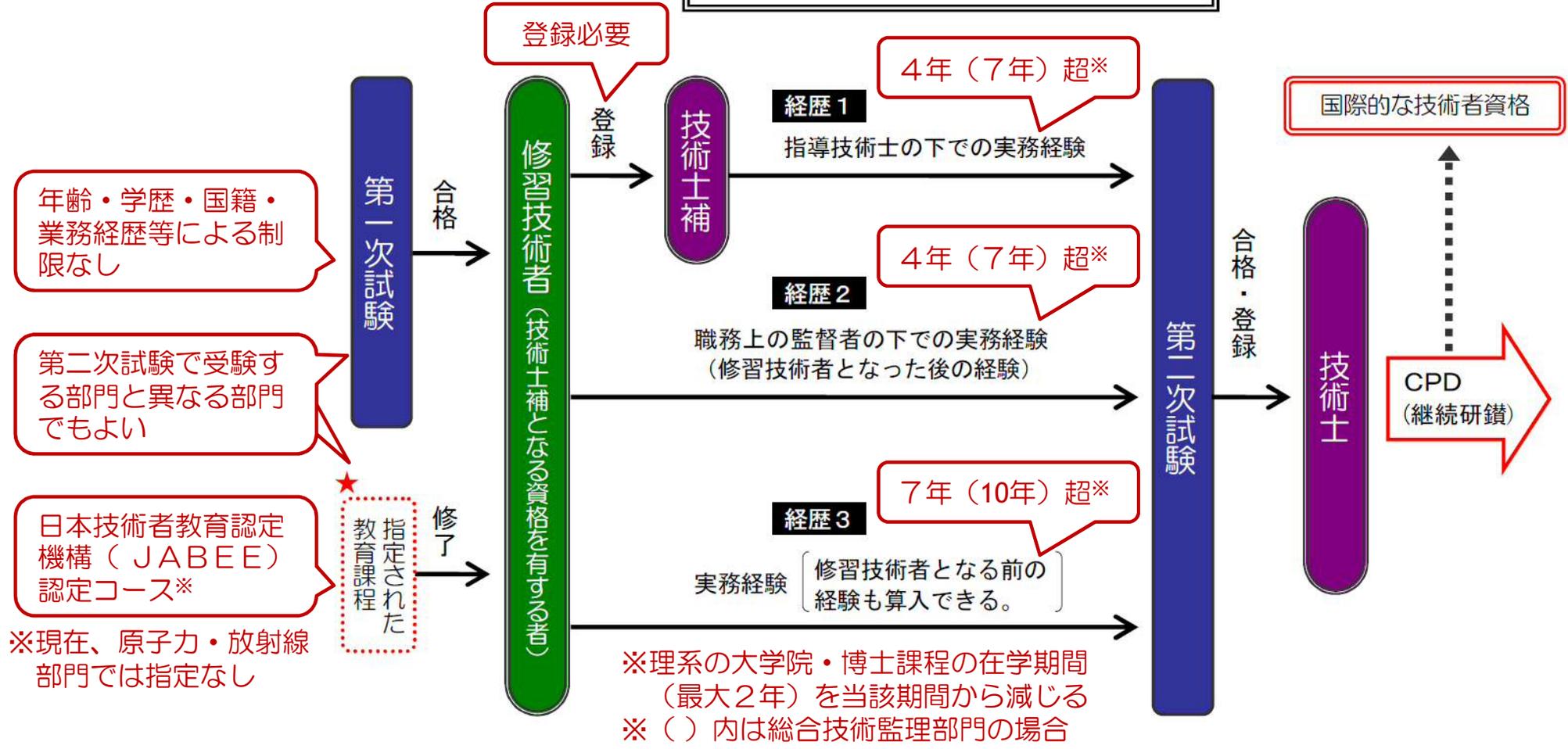
○受験申込書受付期間（平成28年度）

- 申込書の配布 平成28年4月6日(水)～4月27日(水)
- 申込書の受付 平成28年4月1日(金)～4月27日(水)
- 原則郵送、書留（簡易書留）
- 受験手数料（14,000円）は金融機関への振込、ネットバンキング可
- 申込用紙の記載事項や添付書類に不備がある場合、受付期間内に補正完了する必要あり（余裕を持って準備のこと）

3. 受験申込み（第二次試験②）

○受験資格

技術士資格取得までの仕組み



(日本技術士会HP/試験・登録情報 (平成27年度)より)

3. 受験申込み（第二次試験③）

○受験資格（実務経験年数の考え方）

総合技術管理部門は除く

平成○年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
経歴 1 and/or 経歴 2 (相互に合算可)							Red	Green	Green	Green	Green	Blue			
						Yellow	Orange	Green	Green	Blue					
経歴 3							Red	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Blue
							Orange	Green	Green	Green	Green	Blue			
			Yellow	Yellow	Green	Green	Orange	Green	Green	Blue					

凡例	
Red	第一次試験合格・JABEE認定コース終了
Orange	第一次試験合格
Yellow	大学院・博士課程
Green	実務経験
Blue	第二次試験の受験資格

修習技術者となった時点での実務経験や大学院・博士課程での在学の有無に応じて、受験資格の算定で有利な方法が変わる

3. 受験申込み（第二次試験④）

印刷の際は必ず右のボタンから印刷をしてください
*赤字は印刷されません。

印刷

○受験申込書 (サンプル1枚目)

○提出書類

- 受験申込書
- 業務経歴票
- 写真
- 受験手数料の
払込受付証明書
- 技術士補となる資格を有することを
証明する書類
— 第一次試験合格証等

技術士第二次試験受験申込書

提出日を記入

文部科学大臣指定試験機関 公益社団法人 日本技術士会会長 殿
下記により、技術士第二次試験を受験したいので、申し込みます。

平成 27年 4月14日

①	(フリガナ) トリノミナト	受験地	B 東京都
	氏名 寅野 皆人 (男☑・女□)	技術部門	17 応用理学部門
	生年月日 昭和 41年 7月15日生	選択科目	03 地質 次ページ参照
	本籍地 三重県 都道府県コード 24	専門とする事項	土木地質
②	現住所 〒152-0034 東京都目黒区緑が丘7丁目7番7号	総合技術監理部門の受験を申し込む者で、右のいずれかに該当する者は□に✓を付すこと	他の技術部門と併願 <input type="checkbox"/> 選択科目が免除 <input type="checkbox"/>
	マンション名等 目黒グリーンヒルズG-707号	最終学歴	学校名 伊勢大学大学院
	都道府県コード 13 電話番号 090-1234-5678	最終学歴コード 05	学部学科名 理工学研究科 構造地質学専攻
	勤務先 勤務先名 株式会社IPEJ地質 支店・部課名等 開発部 調査課 勤務先コード 42 電話番号 03-3459-1333	卒業(修了)年月	平成 3年 3月

下記の該当する□に✓を付し、必要事項を記入すること。

⑤	<input checked="" type="checkbox"/> 技術士第一次試験合格証番号及び合格年月	第 777777 号	平成 16年 1月
	<input type="checkbox"/> 技術士補登録番号及び登録年月日	第 号	年 月 日
	技術士法第三十一条の二第二項の規定により文部科学大臣が指定した大学その他の教育機関における課程及び当該課程の修了年月		
	学校名	課程	年 月
	学校コード	課程コード	

(日本技術士会HP/試験・登録情報(平成27年度)より)

3. 受験申込み（第二次試験⑤）

○技術部門／選択科目／専門とする事項の選定（事例）

技術部門

20. 原子力・放射線部門	選択科目の内容
20-1 原子炉システムの設計及び建設	原子炉の理論、原子炉及び原子力発電プラントの設計、製造、建設及び品質保証、安全性の確保、核融合炉その他の原子炉システムの設計及び建設に関する事項
20-2 原子炉システムの運転及び保守	原子炉の理論、原子炉及び原子力発電プラントの運転管理及び保守検査、安全性の確保、原子力防災、廃止措置その他の原子炉システムの運転及び保守に関する事項
20-3 核燃料サイクルの技術	核燃料の濃縮及び加工、使用済燃料の再処理、輸送及び貯蔵、放射性廃棄物の処理及び処分、安全性の確保、保障措置その他の核燃料サイクルの技術に関する事項
20-4 放射線利用	放射線の物理、化学及び生物影響、工業利用、農業利用、医療利用、加速器その他の放射線利用に関する事項
20-5 放射線防護	放射線の物理、化学及び生物影響、計測、遮へい、線量評価、放射性物質の取扱い、放射線の健康障害防止その他の放射線防護に関する事項

選択科目

（日本技術士会HP/試験・登録情報（平成27年度）より）

専門とする事項*

※「選択科目の内容」の記載内容から抽出するのがよいが、その他の関連事項でも可

3. 受験申込み（第二次試験⑦）

（制限字数：720字）

○受験申込書 （サンプル3枚目）

○業務内容の詳細

- **□頭試験の審査対象**
 - 旧制度の技術体験論文に相当
- **最も技術士に相応しい業務を選定**
 - 指導的な立場、責任者
 - 難題を克服し**成果**をあげた
 - 技術的な提案に**工夫**あり
- 起承転結を分かり易く
- 制限字数をフル活用
- 誤字、脱字は論外

当該業務での立場、役割、成果等

立場と役割

起

〇〇〇〇プロジェクト××××建設業務（期間：平成XX年XX月～XX年XX月）のうち、△△△△に建設した輸出用大型原油タンクの鋼板設計、溶接設計及び□□のタンクメーカーへの建設全体の指導の業務を本業務責任者として行った。

業務上の課題

承

最新の国際基準を満たした国際大型プロジェクトの仕様と、□□国内法規に固執した□□建設業者の施工法をうまく調和させるという課題があった。□□人技術者、監督者、作業者の気質を理解しながら、彼らを納得させ、世界的に最新鋭な大型原油タンクの、設計から現場施工の完成までを指導せざるを得なかった。

技術的な提案

転

◇◇◇◇という極寒冷地（-XX℃の設計仕様）で建設、運転される大型原油タンク（容量999,999KL）の鋼板に、世界で初めて▽▽▽（ABCDE12345）を採用した。また、現場の側板（最大99MMT）の立向き溶接に半自動溶接を採用し、建設工程の短縮化を図った。

技術的成果

結

□□国内法（YYY, ZZZ）を順守することはもちろん、「FGHIJK」などの国際規格を満足する最新仕様の原油タンクを□□に建設した意義は大きい。□□のタンクメーカーからは、世界的な技術競争力を得られた貢献で感謝状を受領し、□□□□からは高品質なタンクを安全に建設したことで評価された。

4. □頭試験（第二次試験①）

総合技術監理部門を除く

○□頭試験の概要（平成28年度技術士第二次試験実施大綱）

試問事項		配点	試問時間
Ⅰ 受験者の技術的体験 を中心とする経歴の 内容及び応用能力	1.経歴及び 応用能力	60点	20分 (10分 程度延長 の場合も あり)
	Ⅱ 技術士としての適格 性及び一般的知識	2.技術者倫理	
	3.技術士制度の 認識その他	20点	

（日本技術士会HP/試験・登録情報（平成28年度）より）

4. 〇頭試験（第二次試験②）

総合技術監理部門を除く

〇〇頭試験のための準備

試問事項		準備すべきこと
I 受験者の技術的体験を中心とする経歴の内容及び応用能力	1. 経歴及び応用能力	<ul style="list-style-type: none"> • 受験の動機と今後の抱負 • 業務経歴票（全般）と業務内容の詳細 <ul style="list-style-type: none"> — それぞれを簡潔に説明、想定QAも用意 — 失敗例とその対応 • 選択科目Ⅲ（課題解決能力）の解答復元
	2. 技術者倫理	<ul style="list-style-type: none"> • 技術士会の倫理要綱 • 上記に反する場合の対応（トレードオフ） • 最近のトピックス（もんじゅ、杭偽装）
II 技術士としての適格性及び一般的知識	3. 技術士制度の認識その他	<ul style="list-style-type: none"> • 技術士法の理解 <ul style="list-style-type: none"> — 第一条（目的）と第二条（定義） • 技術士の3義務と2責務（暗記＋理解） • 技術士CPD、APECエンジニア

4. 口頭試験（第二次試験③）

総合技術監理部門を除く

○口頭試験の心構え

- 平成26年度 原子力・放射線部門は100%合格、全体では90%程度
部門によっては、50%～80%の合格率もあり
- 準備を怠らず、落とされるようなこと（×）をしなければ合格
- × 遅刻／服装の乱れ／無用な口答えや自己主張／技術士の三大義務を
言えない／経歴詐称（自分で担当していない業務を申込書に記載）
／無言の回答（わからない時は「帰って調べます」などと回答）
- 技術士としての資質があると認めってもらうこと
- 若手の場合、指導的な立場、責任者として業務を行ったか？
上長に言われてやったとの回答は×
- どう考えたか、プロセスの説明が重要

4. □頭試験（第二次試験③）

総合技術監理部門を除く

○□頭試験の体験談（特に回答に困った質問）

- （チームで業務を行うことが少ないのに・・・）
業務を行う上で、どのようなリーダーシップを発揮しているか？
→社内外の関係者と連携し、イニシアチブをとっていることを説明
- （職場で部下がいないのに・・・）
技術士として部下の育成をどう考えているか？
→会社として技術継承を進めることの重要性を説明
大学と共同研究をしており、そこで学生を指導
- （業務経験でうまくいったことを説明したのに・・・）
その業務で失敗したこととその対応は？
→失敗ではないが、水平展開ができていないのが今後の課題

5.最後に

- 技術士の二次試験は、受験申込の段階から試験が始まるとの認識が必要です。
- 口頭試験は、落とす試験ではないので、最低限の準備と、ごく普通の受け答えを心がけましょう。
- 試験勉強も重要ですが、日頃からプレゼン能力や文章力などの地力をつけることも重要です（技術は嘘をつかない）。
- 技術士と名刺に書くことで信用力がアップします。